

第4学年 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成20年6月11日(水) 1時40分～ 教室
2. 議題名 「みんながやりたくなるような学級会の名前を決めよう」
3. 議題について

何事に対しても前向きで、一生懸命に取り組んでいる。3年生から2クラスになったこともあり、半分以上の子どもたちが同じクラスになった経験があるためお互いのことがよくわかっていて男女ともに仲がよい。また、クラスみんなが仲間であるということ意識をはじめ、集団意識が高まりつつある。クラスをよりよくしたいという気持ちがあり、そのためにできることを提案したり話合いで解決したりしたいという思いを持って生活している。

学級では、毎週水曜日の朝を「クラスタイム」とし、係活動や話合いの時間にしている。

学活の時間での話合い活動では、第1回「学級目標を決めよう」、第2回「係を決めよう」、第3回「1年生をむかえる会について考えよう」という議題を提示して行った。

第1回目の学級目標は、『笑顔で元気に遊ぶ仲間。仲間と友情を育て新たにちょうせん』と決定した。一人ひとりが事前に考えた個人目標の中から話合いによって、「友情」「仲間」「笑顔」「元気に遊ぶ」「新たにちょうせん」という5つのキーワードを決め、それを各自が文にまとめたものの中から決定した。

第2回目の「係を決めよう」の話合いでは、めあてを「今までにないような一人ひとりのアイデアが光る係をつくろう」とし、アイデアをつのった。その結果9つの係が決定した。それぞれの係が新聞を発行したり、休み時間に行うミニ集会を企画したり、調べたことを掲示したりと活動を工夫しながら積極的に取り組んでいる。

今回の議題は初めて学級会を開いた時の児童の「去年は、学級会に名前がついていたのだけど今年につけないの?」という一言から生まれた。「つけたい?」と聞くと、「なんか、つけた方が楽しい感じがする。」とのことだった。また、他の子どもからも議題ポストに提案があった。子どもの中からもみんな話合いをしたいという気持ちが高まっているようだ。より多くの子どもたちが話合い活動に関心を持ち、自分たちでものごとを決めていく場であり、それがクラスを作っていくのだという意識を持ってもらいたいので、子どもからの提案を受け入れようと思った。

子どもたちの実態を見ると、3年生から司会グループにより話合いを運営していくことを経験し、集団で決定することの意義がわかりつつある。話合うことに関心はあるようだが自分の意見を自ら発言する子どもは限られている。新学年になり、何度か話合い活動を経験して、少しずつ自ら発言する子どもが増えてきた。また、それぞれの意見や考えを尊重しながらみんなが納得できるようにお話し合いをつけようとする姿勢も見えてきた。学級目標にある『新たにちょうせん』を受けて、今まで発言できなかった子どもも発言したくなるような場にする名前を考えていけるように話合いのめあてを設定したい。学級会が子どもたちにとってより自分の意見を言いやすく、活発な意見交換ができる場になってほしいと思う。また、学級会の名前を毎回提示することで、クラスのことを一人ひとりが決めていくのだという意識を常に持ち、決まったことの価値に気づき、自分の意見を伝えられるようになってほしいと願っている。

4. 評価規準

<p>活動への関心・意欲、問題の気付き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級内の諸問題について気付いたり、関心を持ったりして、進んで解決を図ろうとしている。 ・学級内の組織づくりや仕事の分担処理など、学級や学校の生活の充実と向上を目指し、友だちと協力して意欲的に取り組もうとしている。 	<p>集団の一員としての思考・判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の一員としての自己の役割を自覚し、友だちと協力しながら、学級や学校生活上の諸問題などの解決の仕方、学級や学校生活の充実と向上の図り方について考え、判断している。 	<p>自主的・実践的な活動・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いや係、集会などの活動で自己の考えを表現し、他の児童の考えも生かしながら、進んで問題の解決を図ったり、役割を分担して活動したりする。
--	---	---

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

月 日	活動の場	活動の内容	評価()と支援()
5月15日	帰りの会	話し合いたいことを議題ポストに提案する。	学級全体にかかわる問題に気付いたり、関心を持ったりしている。 (活動への関心・意欲、問題の気付き) 議題ポストを設置し、子どもたちの思いを採り上げていくようにする
5月30日	休み時間	<p>司会グループの話し合い</p> <p>当日の役割の確認</p> <p>進行司会(1)指名司会(2)</p> <p>黒板記録(2)ノート記録(1)</p> <p>話し合いの流れの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題 ・話し合いの柱 <p>・設定時間</p> <p>伝える内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題 ・考えてほしいこと 	話し合いにむけて、進んで準備している。 (自主的・実践的な活動・態度) 司会、記録などの役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるようにしていく。
5月30日	帰りの会	<p>議題を伝える(司会グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級会の名前を考える ・その名前にした理由を考える 	決定した議題や内容を自分たちの工夫した方法でわかりやすく伝えている。 (自主的・実践的な活動・態度)
6月4日	クラスタイム	話し合いのめあてを決める	話し合いの内容を考えて、みんなが参加できるようなめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断) 話し合いの内容に合うようなものと、話し合い活動を充実させるために一人ひとりが気をつけるめあてを考えるように伝える。

			学級目標を達成できるようなめあてを考えるように伝える。
6月5日	朝の会	学級会の名前を決め、意見カードに記入する。(理由も書く)	学級目標やめあてに沿って考えた名前と理由を意見カードに書いている。 (自主的・実践的な活動・態度)
6月9日	休み時間	司会グループで集約し、名前を掲示する。	掲示してある全員の名前を見ておくように伝える。
6月10日	朝の会	友達の考えも参考にして最終的に自分で考えた名前を意見カードに記入する。(理由も書く)	学級目標の達成につながると考えた名前と理由を意見カードに書いている。 (自主的・実践的な活動・態度)

(2) 本時の活動

ねらい

学級会の名前を決めることを通して、学級会への興味・関心を促し、参加意欲につながるようにする。

活動計画

児童の活動	評価()と支援()
1. はじめのことば(進行司会)	司会グループとして、自分の役割を果たしている。 (自主的・実践的な活動・態度)
2. 司会グループの紹介	
3. 議題の確認(進行司会)	話合いの進め方などでつまずいたときには助言する。
4. 提案理由の紹介(提案者)	
5. 話合いのめあての確認(進行司会)	友だちの意見を認めたり、うなずいて聞いたりしている。 (集団の一員としての思考・判断)
6. 話合い 「学級会の名前を決めよう」	友だちの意見を聞き、自分の考えと比べながらよりよい意見を考えて発言している。 友だちの意見を聞き、賛成意見には拍手している。 (自主的・実践的な活動・態度) 話合いのめあてを意識しながら発言するとよいことを伝える。 黒板記録がつまずいたときにはヒントカードをわたす。

<p>7. 決まったことの確認（ノート記録）</p> <p>8. 振り返り</p> <p>9. 先生の話</p> <p>10. おわりのことば（進行司会）</p>	<p>友だちのよかったところを理由とともに発言するように伝える。</p> <p>話し合いのめあてを意識した意見、みんなが納得できるようなよい意見や態度、司会グループのがんばりなどをほめる。また、児童が意欲的に行動するような励ましをする。</p>
---	--

（３）事後の活動

活動の場	活動内容	評価（ ）と支援（ ）
休み時間	背面掲示板の学級会コーナーに、名前看板をつける。	黒板おしらせ係を中心に看板を作り、いつでも見られるようにする。